

ルーマニアの巨星クリスティアン・ムンジウによる、
不穏な新世紀の黙示録。
しのび寄る現代ヨーロッパの怖れと狂気は
いったいどこに向かうのか――

映画史に残る圧巻のクライマックス！
17分間に及ぶ怒濤の長回しショットを目撃せよ。

ルーマニア、トランシルヴァニア地方の村。出稼ぎ先のドイツで暴力沙汰を起こしたマティアスが、この地に戻ってくる。しかし妻との関係は冷めきっており、森でのある事をきっかけに口がきけなくなった息子、衰弱した父への接し方にも迷う彼は、元恋人のシーラに心の安らぎを求める。ところがシーラが責任者を務める地元のパン工場が、アジアからの外国人労働者を迎え入れたことをきっかけに、よそ者を異端視した村人たちとの間に不穏な空気が流れ出す…。

監督はチャウシェスク政権下のおぞましい社会状況を描いた『4ヶ月、3週と2日』でカンヌ国際映画祭パルムドールを受賞したクリスティアン・ムンジウ。村のささいな対立が深刻な紛争へと発展していく様を描きながら、幾多の火種を抱えたヨーロッパ、そして分断された世界の危うい現状を、まざまざとあぶり出した。そして住民が一堂に会する集会所でのクライマックスは、17分間にもおよぶ固定カメラの長回しショットで撮影され、私たち日本人にとっても他人事ではない“壊れゆく世界”の有り様が鮮烈に映像化されている。

トランシルヴァニア地方 TRANSYLVANIA

ルーマニアの中部～北西部に位置しカルパチア山脈に囲まれたトランシルヴァニア地方は、ブルム・ストーカーの古典的な恐怖小説「吸血鬼ドラキュラ」の舞台になったことで有名だが、古くからの伝統行事が受け継がれているこの地域は、ヨーロッパ有数の野生動物の生息地でもある。そうしたトランシルヴァニア特有の風土をあますところなくカメラに収めた本作は、その地域性からルーマニア語、ハンガリー語、ドイツ語、英語、フランス語のセリフが飛び交う多民族の村の複雑怪奇な人間模様を映し出している。

監督、脚本：クリスティアン・ムンジウ 出演：マリン・グリゴレ、エディット・スターツ、マクリーナ・ベルグリアヌ他 原題：R.M.N.
2022年 / ルーマニア・フランス・ベルギー / カラー / シネスコ / 127分 / 5.1ch 日本語字幕：岡美冬 後援：在日ルーマニア大使館
配給：播磨シネマ倶楽部 / インターフィルム ©Mobra Films Why Not Productions・FilmGate Films・Film 1 Vest-France 3 Cinema 2022

ヨーロッパ新世紀



10.14(土)戦慄の公開!

渋谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース
EUROSPACE

03-3461-0211 www.eurospace.co.jp